

◆ 今週のコメント

【麻しんの発生件数の把握について】

京都市においては、従来の指定医療機関からの定点報告に加え、5月25日付けで市内全医療機関からの麻しんの発生件数(成人麻しんを含む)の全数把握を行っています。結果については次のページの発生状況の概況グラフの2「麻しん全数発生報告」に掲載しています。

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.20で、過去5年平均値(0.77)を上回っています。年齢階級別にみると、5歳(20.41%)が最も多くなっています。行政区別にみると、南区、西京区で多くなっています。
- ・ レジオネラ症の報告が1例です。本年の累積報告数は4例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(0～1例)と比べて最も多くなっています。

◆ 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

- ・ 後天性免疫不全症候群の広報発表が5月22日にありました。平成19年1月～3月の累積報告数は6例で、平成12年から18年の同時期(1～5例)と比較すると、本年は最も多くなっています。詳細については、トピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 11例(肺結核 8例, その他 3例)(第14・15・19・20週追加分含む)
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例

麻しん全数発生報告

(京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む)の報告数)

※5月25日から6月3日までの報告を初診週別に集計。初診週、報告数(うち15歳以上の成人麻しん報告数)の順に掲載。

- ・ 第17週(4月23日～4月29日) 1例
- ・ 第18週(4月30日～5月6日) 1例(1例)
- ・ 第19週(5月7日～5月13日) 2例(2例)
- ・ 第20週(5月14日～5月20日) 3例(3例)
- ・ 第21週(5月21日～5月27日) 2例(2例)
- ・ 第22週(5月28日～6月3日) 2例(2例)

なお、上記には、定点からの報告は含まれません。

参考) 平成19年 定点報告による麻しん報告数 (報告週別に集計)	
・麻しん	3例
第17週	1例(6ヶ月～11ヶ月)
第18週	1例(3歳)
第20週	1例(10～14歳)
・成人麻しん	0例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.83	239
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.20	49
	③ 水痘	1.12	46
	④ 突発性発しん	0.44	18
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
アデノウイルス1型(1)	感染性胃腸炎(第18週)

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

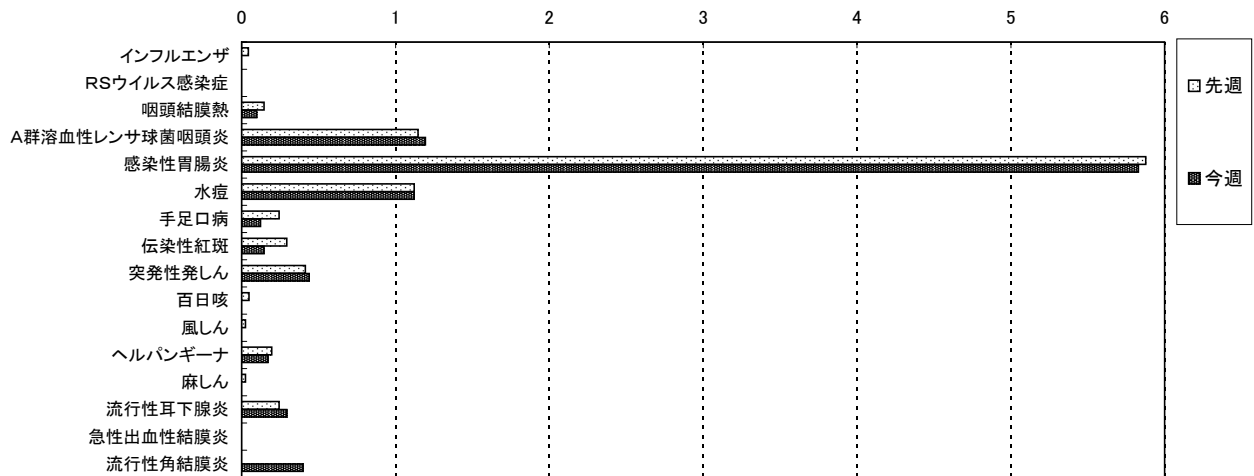
付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

〈お詫び〉 第20週の週報のトピックス「麻しん, 成人麻しん」に掲載していましたグラフ「都道府県別麻しん, 成人麻しん累積報告状況(本年第1週～20週)」にて、東京都及び神奈川県データの記載漏れがありましたので、お詫びいたします。

(注) 京都市のデータは:平成19年6月4日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

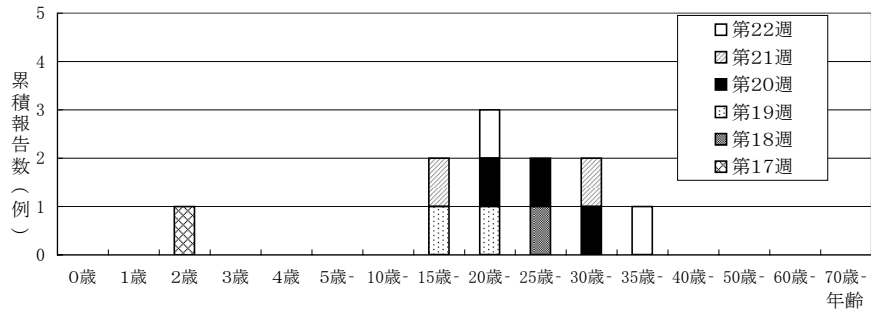
1 今週(第21週)と先週(第20週)の定点当たり報告数の比較



2 麻疹全数発生報告

(京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻疹(成人麻疹を含む)の報告数)

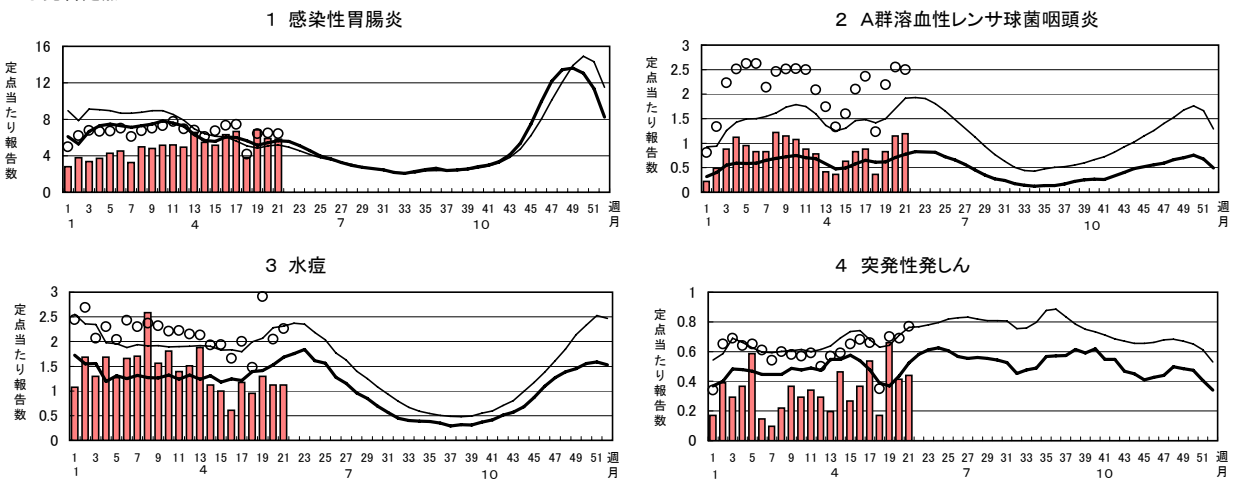
週(※)	報告数(※)
累積報告数	11(9)
第17週	1(1)
第18週	1(1)
第19週	2(2)
第20週	3(2)
第21週	2(2)
第22週	2(1)



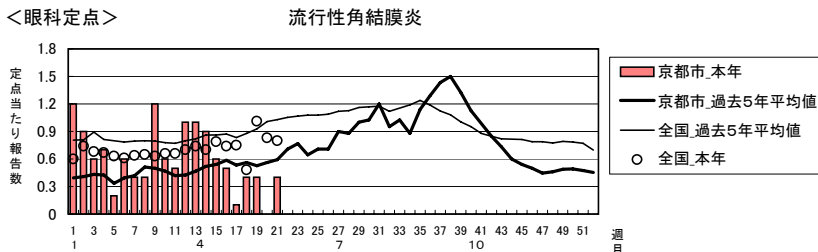
(※) 週は初診週別に集計, 報告数の()内は患者所在地が市内の報告数

3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第21週)のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

平成19年1月～3月の累積報告数は6例で、平成12年から18年の同時期(1～5例)と比較すると、本年は最も多くなっています。

平成19年1月～3月の累積報告数をみると、以下のとおりです。

- ① 病状・性別では、HIV感染者、AIDS患者ともに同数で、全て男となっています。
 - ② 病状・年齢階級別では、HIV感染者は20歳代(2例)、30歳代(1例)で報告があり、AIDS患者は20歳代、40歳代、50歳代で各1例ずつ報告があります。
 - ③ 病状・推定感染経路別では、HIV感染者では、性行為(同性)で2例、性行為(異性)で1例の報告があり、AIDS患者では、性行為(異性)で1例、その他で2例の報告となっています。
- また、平成12年から平成18年の累積報告数(n=87)による集計結果を下記に掲載します。

京都市では、各保健所にて週に1回、HIV(エイズ)検査(無料、予約不要)を行うとともに、毎月第2、第4木曜日の夜間に下京保健所にて、HIV(エイズ)即日検査(無料、要予約)を行っています。また、6月17日より、第1、第3日曜日に休日検査(無料、要予約)を京都工場保健会御池保健センターにて開始します。時間、問合せ先等、詳細については、地域医療課のホームページ(<http://www.city.kyoto.jp/hokenfukushi/iryuu/index.html>)に掲載しています。

平成12年以降の1月～3月の累積及び年間報告数

	1月～3月の累積			年間 ()はHIV感染者
	HIV感染者	AIDS患者	小計	
平成12年		1	1	6 (3)
平成13年	3	1	4	6 (4)
平成14年	1	3	4	9 (5)
平成15年	2	1	3	11 (9)
平成16年	3		3	21 (19)
平成17年	1	1	2	9 (6)
平成18年	2	3	5	25 (17)
平成19年	3	3	6	—
総計	15	13	28	87 (63)

平成19年(1月～3月)の累積報告数 (n=6)

(病状別, 性別, 年齢階級別, 推定感染経路別)

		HIV感染者	AIDS患者
性別	男	3	3
	女	0	0
年齢階級	20歳代	2	1
	30歳代	1	0
	40歳代	0	1
	50歳代	0	1
推定感染経路	性行為(異性)	1	1
	性行為(同性)	2	0
	性行為(その他)	0	0
	静注薬物使用	0	0
	その他	0	2

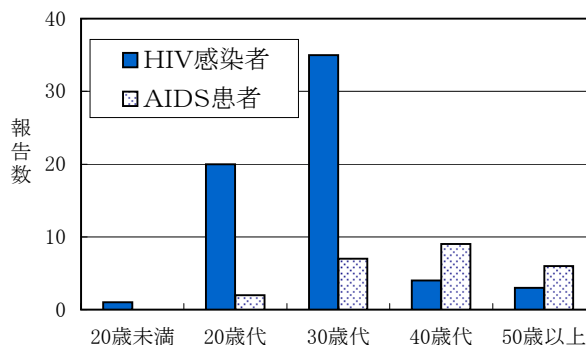
参考

平成12年～平成18年の累積報告数 (n=87)

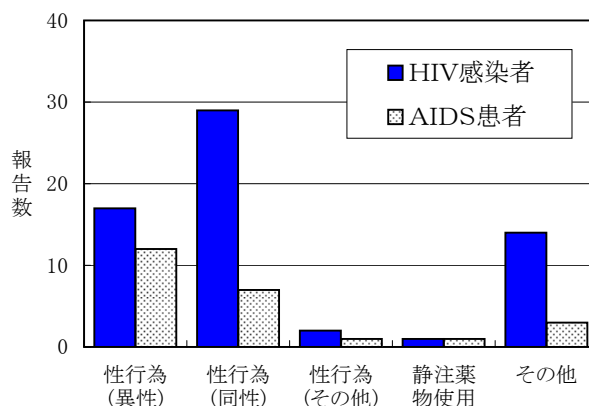
1 病状・性別報告数

	HIV感染者	AIDS患者
男	57	23
女	6	1

2 病状・年齢階級別報告数



3 病状・推定感染経路別報告数



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第21週

疾病,保健所別報告数

平成19年5月21日～平成19年5月27日

データ入手日:平成19年6月4日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	1	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	1	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1	16	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	2	13	3	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1	10	5	2	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	15	40	13	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	1	29	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2	4	30	2	3	2	3	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	21	62	17	-	1	5	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	4	49	239	46	5	6	18	-	-	7	-	12	-	4	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	0.25	1.75	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.25	1.75	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	1.00	0.67	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.25	4.00	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.67	4.33	1.00	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	15.00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.25	2.50	1.25	0.50	0.25	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	5.00	13.33	4.33	-	-	0.67	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	0.20	5.80	0.20	-	0.20	0.20	-	-	-	-	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.29	0.57	4.29	0.29	0.43	0.29	0.43	-	-	0.14	-	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.25	5.25	15.50	4.25	-	0.25	1.25	-	-	0.25	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.10	1.20	5.83	1.12	0.12	0.15	0.44	-	-	0.17	-	0.29	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第21週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年5月21日～平成19年5月27日

データ入手日:平成19年6月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	4	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	49	-	-	1	-	2	7	10	8	2	6	2	7	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	239	7	22	28	13	30	28	25	11	11	7	6	24	2	25	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	46	4	4	11	6	7	3	5	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	5	-	-	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢1	6	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	18	2	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢1	7	-	1	2	1	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢1	12	-	-	-	1	3	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.10	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	1.20	-	-	0.02	-	0.05	0.17	0.24	0.20	0.05	0.15	0.05	0.17	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	5.83	0.17	0.54	0.68	0.32	0.73	0.68	0.61	0.27	0.27	0.17	0.15	0.59	0.05	0.61	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	1.12	0.10	0.10	0.27	0.15	0.17	0.07	0.12	0.05	0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.12	-	-	0.05	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢1	0.15	-	-	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	0.44	0.05	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢1	0.17	-	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢1	0.29	-	-	-	0.02	0.07	0.07	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.20	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第21週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年6月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	123	93	28	14	3	-
RSウイルス感染症	1	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	3	6	5	6	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	36	15	34	47	49
感染性胃腸炎	259	274	157	280	241	239
水痘	25	48	39	53	46	46
手足口病	5	5	3	5	10	5
伝染性紅斑	5	7	7	9	12	6
突発性発しん	15	22	7	27	17	18
百日咳	3	2	-	2	2	-
風しん	-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	1	1	2	11	8	7
麻しん (※)	-	1	1	-	1	-
流行性耳下腺炎	9	1	8	13	10	12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	1	4	4	-	4
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	488	494	277	457	404	390

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	1.81	1.37	0.41	0.21	0.04	-
RSウイルス感染症	0.02	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.07	0.07	0.15	0.12	0.15	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	0.88	0.37	0.83	1.15	1.20
感染性胃腸炎	6.32	6.68	3.83	6.83	5.88	5.83
水痘	0.61	1.17	0.95	1.29	1.12	1.12
手足口病	0.12	0.12	0.07	0.12	0.24	0.12
伝染性紅斑	0.12	0.17	0.17	0.22	0.29	0.15
突発性発しん	0.37	0.54	0.17	0.66	0.41	0.44
百日咳	0.07	0.05	-	0.05	0.05	-
風しん	-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.05	0.27	0.20	0.17
麻しん (※)	-	0.02	0.02	-	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.22	0.02	0.20	0.32	0.24	0.29
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.10	0.40	0.40	-	0.40
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	11.09	11.22	6.79	11.31	9.82	9.81

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。